

Swagelok® ジャケット・チューブ・コネクタ

取り付け方法

本説明書は、サイズが 1/4 インチ、3/8 インチ、1/2 インチのジャケット・チューブ・コネクタを対象としています。

1. ジャケット・チューブを希望する長さに切断します。



2. ジャケットを切断してチューブから取り除き、ジャケット・チューブ・コネクタに差し込む際に必要な長さを確保します。ジャケット切断長さにつきましては、下の表をご参照ください。

△ 注意

切断したジャケットが短かすぎた場合、チューブ継手が正しく機能しないおそれがあります。

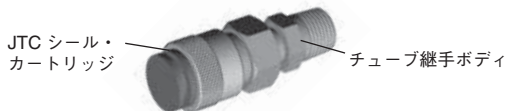
注記

切断したジャケットが長すぎた場合、対外部シールの性能に影響を与えるおそれがあります。



チューブ 外径サイズ (インチ)	A ジャケット切断長さ (mm)	ジャケット切断長さの 公差 (mm)
1/4	22.2	± 3.2
3/8	25.4	
1/2	28.6	

3. JTC シール・カートリッジをチューブ継手ボディに差し込み、指締めします。



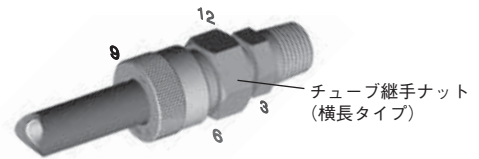
4. アーバーをジャケット・シール・ナットから取り外します。



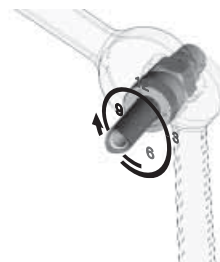
5. チューブを継手の中の肩に当たるまで差し込みます。チューブ継手ナットが指締めされていることを確認します。



6. チューブ継手ナット (横長タイプ) に時計でいう 6 時の位置に目印を付けます。



7. 継手ボディを固定し、チューブ継手ナット (横長タイプ) を 1 1/4 回転まわします。ちょうど目印がもとの 6 時の位置から 1 回転した後、さらに 9 時の位置までまわることになります。



締め付け度の確認

Swagelok ギャップ検査ゲージを使用することで、継手が十分に締め付けられているかどうかを確認することができます（初回取り付け時）。

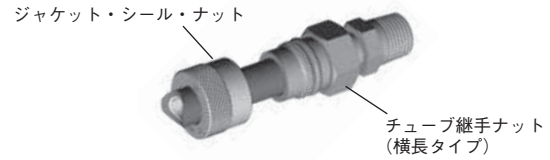
Swagelok ギャップ検査ゲージをチューブ継手ナット（横長タイプ）とボディの間のすき間に当ててください。

- ギャップ検査ゲージがナットとボディの間に入らなければ、締め付けが十分に行われています。
- ギャップ検査ゲージがナットとボディの間に入るようであれば、さらに締め付けが必要です。

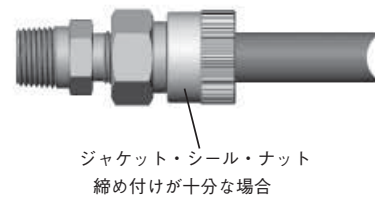
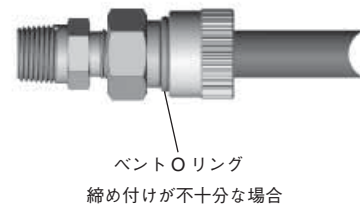


漏れテスト／最終取り付け

1. 圧力降下漏れテストを行う際は、手順2へ進んでください。
漏れ検出液を使用した漏れテストを行う際は、ジャケット・シール・ナットをチューブ継手ナット（横長タイプ）から取り外してから、テストを行ってください。ジャケット・シール・ナットを交換します。



2. ジャケット・シール・ナットを手締めします。ジャケット・シール・ナットがベントOリングを覆っている状態であれば、締め付けが十分に行われています。希望する場合は、**圧力降下漏れテスト**を行います。



この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。